

世界遺産『百舌鳥・古市古墳群』周遊コンテンツ制作等業務 仕様書

1 業務名

世界遺産『百舌鳥・古市古墳群』周遊コンテンツ制作等業務

2 業務の趣旨・目的

百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議（以下「活用会議」という。）では、大阪唯一の世界遺産である百舌鳥・古市古墳群（以下「古墳群」という。）の高い価値や魅力を国内外に伝え、認知度や来訪意識の向上につなげるための取組みを進めている。

本業務は、古墳群の専門的な知識がない方でも楽しみながら、古墳群の基本情報や歴史背景等を知ることができるツールとして、周遊コンテンツを制作する。

3 契約期間

契約締結日から令和8年3月31日（火）まで

※周遊コンテンツの公開日等について

令和7年9月30日（火）までに利用者が利用できる状態での公開開始（納品）とし、令和8年3月31日（火）までに、必要に応じた機能等を追加した最終版を納品すること。

4 委託上限額

7,140,000 円

（周遊コンテンツに係る令和8年3月31日（火）までの保守運用費用、消費税及び地方消費税を含む。）

5 委託業務の内容

（1）周遊コンテンツの制作

古墳群のマップ機能、古墳群の解説機能（表示及び多言語音声）、スタンプラリー機能等を有したコンテンツ（アプリケーション）を制作すること。

コンテンツ（アプリケーション）の基本要件について

- ・スマートフォン及びタブレット端末に対応したコンテンツ（アプリケーション）を制作すること。
- ・アプリケーションの種類（Web アプリ・ネイティブアプリ）については問わない。なお、ネイティブアプリとして配信する場合は、App Store 及び Google Play から無料で取得可能であること。
- ・アプリケーションは iOS 及び Android のいずれにも対応したものとすること。また、バージョンは最新のものに対応すること。
- ・開発以降の機能追加・変更に対応できる拡張性を有すること。
- ・マップ機能を有し、利用者の位置情報及びスポットの位置を確認できること。GPS 位置情報を取得する機能を有する場合は、利用者に同意を求めること。
- ・対応言語は日本語・英語・中国語（簡体・繁体）・韓国語とすること。
- ・アプリケーションは長期間の運用を見据え、今後の維持管理については、極力安価なものとなるように検討すること。

- ・アプリケーションのサイズは、Wi-Fi 環境以外の通信環境でも滞りなくダウンロードできるものにする。
- ・不具合が確認された場合は、速やかに修正し、App Store 及び Google Play においてアップデート対応を行う。

コンテンツ（アプリケーション）の内容について

- ・古墳群の周遊を促進するための企画内容とし、企画構成にあたり、現実的に歩行可能な周遊ルートとするため、コンテンツ（アプリケーション）制作時には必ず提案周遊ルートの現地確認を行う。
- ・活用会議が発行している百舌鳥古墳群ウォーキング・マップ（※ 1）及び古市古墳群ウォーキング・マップ（※ 2）等を参考に、百舌鳥エリア及び古市エリアにおける周遊ルートを設定する。

【周遊ルート設定の条件】

- 提案するルートで世界遺産に登録されている古墳 48 基（以下、「構成資産」という。別表構成資産一覧を参照。資産 No.14 は学校内のためルートには含めないこと。）をすべて網羅し、古墳がある街の魅力を楽しむことができる周遊ルートとすること。
- 周遊ルート数の上限は問わないが、各周遊ルートには必ず構成資産を 1 つ以上含むこと。
- 徒歩で周遊可能なルートとすること。
- 周遊ルートには、構成資産以外のスポット（施設、店舗等）を含めてもよいが、周遊ルートへの掲載にあたり、施設、店舗等への申請、連絡、調整等については受託事業者が行う。

- ・周遊ルートスポットである各古墳の写真表示機能、200 字程度の解説表示機能及び音声解説機能を有すること。なお、解説（テキスト・音声）の対応言語は、日本語・英語・中国語（簡体・繁体）・韓国語とする。また、古墳の写真及び解説（テキスト）については、活用会議から提供するものを使用してもよい。
- ・道案内（ナビゲーション）機能を盛り込むなど、利用者が古墳群を効率的に周遊できる機能を有するものとする。
- ・スタンプラリー機能を有するものとする。オリジナルスタンプ等を作成し、各古墳を訪れた方にスタンプ等を付与する機能とすること。
- ・利用者分析・効果検証のための情報（アプリケーションのダウンロード数、利用者数、利用場所、利用時間、利用言語等）を取得する機能を有するものとする。
- ・利用者情報の取得は、運用上必要最低限度とし、必要としない個人情報の収集は禁止する。取得した情報については、漏洩・改ざんなど事故が発生しないよう対策を行う。
- ・スマートフォン及びタブレット端末に不慣れな利用者でも、複雑な操作を行うことなく利用できるものとする。屋外での操作の際にも安全に利用できるものとする。
- ・視覚的な見やすさ、操作性に配慮すること。また、誰もが分かりやすい表現で制作し、全体を構成すること。
- ・コンテンツ（アプリケーション）公開後に活用会議が必要に応じ、周遊ルートやテキスト内容等を追加・変更等が可能な設計である場合、仕様の実現上特に必要な場合を除き、受託者への依存性の高い技術を利用せず構築すること。（例：管理者画面から容易に情報の追加、変更等が可能な設計とする等）

【参考】古墳群の基本情報

①古墳リスト

- ・百舌鳥エリア

https://www.mozu-furuichi.jp/jp/learn/mozu_furuichi_mozu_list.html

- ・古市エリア

https://www.mozu-furuichi.jp/jp/learn/mozu_furuichi_furuichi_list.html

②ウォーキング・マップ

- ※ 1 百舌鳥古墳群ウォーキング・マップ

https://www.mozu-furuichi.jp/jp/visit/mozu_map.html

- ※ 2 古市古墳群ウォーキング・マップ

https://www.mozu-furuichi.jp/jp/visit/furuichi_map.html

③百舌鳥・古市古墳群周遊ガイドブック

- ・Discover 世界遺産 百舌鳥・古市古墳群

<https://www.mozu-furuichi.jp/jp/promotion/allure/guidebook.html>

試行版について

- ・コンテンツ（アプリケーション）の公開まで段階的にテストを行うとともに、必要に応じて修正等を行い、活用会議の最終確認を受けること。

サーバ構築・設定について

アプリケーションを運用するデータサーバの構築及び設定を行うこと。なお、その際は下記の要件を満たすこと。

- ア 自然災害やメンテナンス等による場合を除き、アプリケーションが 24 時間 365 日稼働すること。
- イ 長期的に安定運用でき、機器の障害やデータの破損に備え、定期的なバックアップを行うこと。
- ウ 履行期間終了後においても、維持管理を容易かつ安価に行うことができ、データ量の増加等に対応できるよう、汎用的で拡張性を考慮した仕様とすること。
- エ ウイルス対策やセキュリティ対策、パッチ適用を必ず行うこと。

（２）周遊コンテンツの運用及び保守

- ・受託事業者は、下記ア～ウを行うこととし、その他問題等が発生した場合は直ちに活用会議に報告するとともに、対応策及び対応の進捗を活用会議と共有すること。
- ・利用者分析・効果検証のために取得した利用データを集計し、活用会議へ定期的に報告すること。

ア 運用

① サーバ管理

- ・定期的にサーバ情報（データベース及び設定）のバックアップを行うこと。
- ・セキュリティ及び利用負荷に考慮したサーバ構成とすること。

② 活用会議からの問い合わせ対応

・平常時

- i 午前 9 時～午後 6 時を問い合わせ受付時間帯とすること。ただし、土曜日、日曜日、祝日及び活用会議が指定する日を除く。
- ii 活用会議の担当者からのシステム操作に関する問い合わせに対し、電話及びメールにて対応すること。

・障害発生時

障害を検知した場合、電話により障害箇所、影響範囲及び障害の現状を簡潔に報告すること。また、電話で対応できない障害が発生した場合は、速やかにエンジニアを派遣すること。通常連絡先、緊急連絡先にも連絡がとれない場合には、メールにて障害連絡を行うこと。

③ 利用者からの問い合わせ対応

④ 月間報告書の提出

- ⑤ 活用会議から軽微な修正・追加（必要に応じた機能追加等を含む。）について依頼があった場合は、協議の上、受託事業者は速やかに対応すること。

イ 保守

① App Store 及び Google Play への登録申請及び登録維持対応

② iOS 及び Android のバージョンアップの対応（動作検証及びアップデート登録作業等を含む。）

③ 技術的脆弱性対応

- ・システムの動作環境及び動作前提であるハードウェア及びソフトウェアについて、既知の脆弱性が存在しないこと及び既知の攻撃手法に対して脆弱な設定が行われていないことを確認すること。
- ・導入しているハードウェア及びソフトウェアに関連する技術的脆弱性情報を収集すること。
- ・重大な脆弱性が確認された場合及び活用会議から求めがあった場合は、3 営業日以内に対応方針を決定し、速やかに対応を講じること。

④ システムの監視・障害対応

- ・監視ソフト等により、サーバやネットワーク機器の稼働状況を常時監視すること。
- ・常時運用を円滑に行うための保守体制を確保し（点検及び障害復旧等を含む）、障害発生時に速やかに対応すること。

ウ 操作サポート

（３）で求める操作・管理に必要なマニュアルの納品時に併せて、担当者向けのシステム操作研修を行うとともに、担当者からの問い合わせ窓口を設ける等、サポートを行うこと。

（３）周遊コンテンツの操作マニュアル等の作成

コンテンツ（アプリケーション）の操作・管理に必要なマニュアルを作成すること。

（４）周遊コンテンツの広報

- ・コンテンツ（アプリケーション）の魅力を伝える広報用のチラシを作成すること。チラシは A 4 版、コート紙 90 k g、表面 4 色刷り（裏面の有無は問わない）で、印刷部数は 2,000 枚とする。なお、校正や校了については活用会議と協議して行うこと。
- ・スタンプラリー参加者に配布する PR グッズ（百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議の名

入込み)を1,000個作成すること。なお、内容については活用会議と協議して行うこと。

(5) 事業の実施体制等の策定

上記(1)～(4)について、契約期間内に計画的かつ効率的に実施できるよう計画を立てて進行管理を行うこと。

- ・事業を実施するうえで十分な運営体制を構築すること。
- ・契約期間全体を通して、事業実施のスケジュールを想定し、その運営について十分な体制を継続的に維持すること。

6 提案を求める事項

提案書には以下(1)から(3)の各項目を明記すること。なお、提案にあたっては、本仕様書及び公募要領の内容に留意すること。

(1) 周遊コンテンツの制作について

- ・コンテンツ(アプリケーション)の構成(内容、表現手法、動作環境、画面遷移イメージ、テキスト内容変更の方法等)
- ・コンテンツ(アプリケーション)の種類(Webアプリ・ネイティブアプリ)
- ・周遊ルートの具体的な内容(スポット、ルート等)
- ・スタンプラリー機能の具体的な内容(スタンプ取得までの流れ等)

(2) 周遊コンテンツの運用及び保守

- ・令和8年度以降の年間の保守運用費用(OS等のバージョンアップへの対応に係る費用を含む。)について提示すること。なお、バージョンアップの内容等により費用が変動することが見込まれる場合は、その旨を記載の上、過去の実績等から算出した費用を提示すること。
- ・新たなスポット追加(写真、テキスト及び音声の追加を含む。)に費用が発生する場合、1スポットあたりの費用を提示すること。
- ・令和8年度以降の年間の保守運用体制(利用者からの問い合わせ対応、障害発生時の対応等)について提示すること。

※留意事項 上記で提案された金額・内容での保守運用を保証するものではない。

(3) 事業の実施体制等の策定

- ・事業実施体制及び人員
- ・契約期間内の全体スケジュール(業務ごとに記載)
- ・本事業を受託するにあたっての提案事業者の強み(類似事業の実績等)

7 委託業務の一般原則

- (1) 業務の遂行に当たっては、常に公正かつ中立的な姿勢を保つことを心がけるものとする。
- (2) 本業務の実施で得られた成果等については活用会議に帰属する。
- (3) 業務の再委託は原則禁止とし、必要が生じた場合は事前に活用会議と協議するとともに、その決定に従うこと。

8 委託業務の運営

受託事業者は、会計に関する諸記録を整備し、事業年度終了後 5 年間保存するものとする。なお、活用会議から請求があった場合、速やかに提出すること。

9 委託業務の報告

受託事業者は、契約締結後、適宜、委託事業の実施状況を書面等により、活用会議に報告するものとする。なお、進捗状況に応じて、活用会議が業務実施計画の見直しを求める場合は対応すること。

また、事業期間終了後、直ちに業務内容がわかる書類を活用会議に提出すること。

10 成果品及び納期

周遊コンテンツについては、令和 7 年 9 月 30 日（火）までに利用者が利用できる状態での納品とし、令和 8 年 3 月 31 日（火）までに、必要に応じた機能等を追加した最終版を納品すること。

成果品	納期
(1) コンテンツ（アプリケーション）広報用チラシ（印刷物（2,000 部））	令和 7 年 9 月 30 日
(2) コンテンツ（アプリケーション）広報用チラシデザインデータ（Ai・PDF・jpeg 形式）（電子媒体に記録したもの（1 部））	
(3) PR グッズ（1,000 個）	
(4) コンテンツ（アプリケーション）設計図（印刷物（4 部）及び電子データ）	
(5) システム設計書（サーバ設定情報等が含まれているもの）（印刷物（4 部）及び電子データ）	
(6) ソフトウェア	
(7) ソース一式（電子媒体に記録したもの（2 部））	
(8) 操作・管理マニュアル（印刷物（4 部）及び電子データ）	
(9) 実施報告書（印刷物（4 部）及び電子データ）	
(10) (4)～(8) について、納品後（令和 7 年 9 月 30 日以降）に機能追加等が生じた場合は、その最終版	令和 8 年 3 月 31 日
(11) その他、事業にあたり活用会議と受託事業者にて協議し、必要と認められたもの	随時

11 業務全体に係る留意点

(1) 著作権及び使用料等について

・本事業における成果品の著作権（著作権法（昭和 45 年法律第 48 号）第 27 条及び第 28 条の権利を含む。）は、検査完了の時をもって受託事業者から活用会議に移転し、帰属するものとする。ただし、成果品にこの契約の前から受託事業者が著作権を有するもの又は第三者が権利を有するものの著作権は、受託事業者又は当該第三者に留保されるものとし、受託事業者は活用会議及びその指定する者の必要な範囲で活用会議及びその指定する者に使用することを許諾するものとする。また、本事業終了後においても活用会議がその保有する広報媒体等を活用して公表等を行うにあたり、著作権使用料等が別途発生しないようにし、自由に無償で使用できるものとするとともに、著作者人格権（著作権法第 18 条第 1 項、第 19 条第 1 項及び第 20 条第 1 項に定める権利を含む。）の行使をしないこと。

- ・本事業による成果品については、使用料、その他名目の如何を問わず、使用の対価を一切請求することができない。
 - ・成果品に使用されるすべてのものは、必ず著作権等の了承を得て使用すること。
 - ・コンテンツ（アプリケーション）に使用する著作物（写真、文章、映像、音声等）に係る著作権、肖像権、商標権などの権利関係の処理・調整については受託事業者が行うこと。
 - ・成果品が第三者の著作権等を侵害したことにより当該第三者から制作物の使用の差し止め又は損害賠償を求められた場合、受託事業者は活用会議に生じた損害を賠償しなければならない。
- （２）個人情報の保護について
- ・本事業で制作する成果品は公表を前提とするため、個人情報の保護その他法令順守に十分配慮して制作すること。
- （３）守秘義務等について
- ・受託事業者は、委託業務の遂行上知り得た情報は、受託業務遂行の目的以外に使用し、又は第三者に提供してはならない。
 - ・委託業務の終了後、成果品に誤り等が認められた場合には、受託事業者の責任において速やかにその誤りを訂正しなければならない。
- （４）個人情報の取り扱いについて
- ・委託業務の遂行上知り得た個人情報や法人情報については、受託事業者の責任において厳重に管理するとともに、他の目的への転用等は絶対に行わないこと。また、業務完了後、受託事業者が保有する機器等にデータが残存している場合は、受託事業者の責任において確実にデータの破棄を行うこと。
 - ・受託事業者は事業実施にあたり、収集する個人情報及び法人情報について、活用会議に情報提供することを当事者に事前に説明し同意を得ること。
 - ・事業実施にあたり収集した個人情報や法人情報は受託事業者に帰属するものとし、活用会議の指示に従い提供を行うこと。

12 その他

- （１）本業務を遂行するにあたり必要となる経費は、契約金額に含まれるものとし、発注者は契約金額以外の費用を負担しないものとする。
- （２）本事業を実施するにあたり、仕様書に明示なき事項及び疑義が生じた時は、活用会議と受託事業者で協議の上、業務を遂行すること。
- （３）受託事業者は活用会議と緊密に連絡を図り、情報を共有しながら業務を推進すること。
- （４）受託事業者は、契約締結後直ちに業務の実施体制に基づく責任者を指定し、活用会議へ報告すること。
- （５）業務の実施にあたっては、効果的に成果をあげるため、活用会議と十分協議を行いながら進めること。また、本業務に必要な関係者との調整を行うこと。
- （６）あらかじめ活用会議と調整したスケジュールで業務を行うこと。
- （７）企画提案及び契約手続きにおいて用いる言語は日本語、通貨は日本円とする。

構成資産一覧

資産 No.	構成資産の名称	所在地
1	反正天皇陵古墳	大阪府堺市
2	仁徳天皇陵古墳、茶山古墳及び大安寺山古墳	大阪府堺市
	2-1 仁徳天皇陵古墳	
	2-2 茶山古墳	
	2-3 大安寺山古墳	
3	永山古墳	大阪府堺市
4	源右衛門山古墳	大阪府堺市
5	塚廻古墳	大阪府堺市
6	収塚古墳	大阪府堺市
7	孫太夫山古墳	大阪府堺市
8	竜佐山古墳	大阪府堺市
9	銅亀山古墳	大阪府堺市
10	菰山塚古墳	大阪府堺市
11	丸保山古墳	大阪府堺市
12	長塚古墳	大阪府堺市
13	旗塚古墳	大阪府堺市
14	銭塚古墳 ※学校内のため周遊ルートには含めないこと。	大阪府堺市
15	履中天皇陵古墳	大阪府堺市
16	寺山南山古墳	大阪府堺市
17	七観音古墳	大阪府堺市
18	いたすけ古墳	大阪府堺市
19	善右衛門山古墳	大阪府堺市
20	御廟山古墳	大阪府堺市
21	ニサンザイ古墳	大阪府堺市
22	津堂城山古墳	大阪府藤井寺市
23	仲哀天皇陵古墳	大阪府藤井寺市
24	鉢塚古墳	大阪府藤井寺市
25	允恭天皇陵古墳	大阪府藤井寺市
26	仲姫命陵古墳	大阪府藤井寺市
27	鍋塚古墳	大阪府藤井寺市
28	助太山古墳	大阪府藤井寺市
29	中山塚古墳	大阪府藤井寺市
30	八島塚古墳	大阪府藤井寺市
31	古室山古墳	大阪府藤井寺市
32	大鳥塚古墳	大阪府藤井寺市

資産 No.	構成資産の名称	所在地
33	応神天皇陵古墳、誉田丸山古墳及び二ツ塚古墳	大阪府羽曳野市
	33-1 応神天皇陵古墳	
	33-2 誉田丸山古墳	
	33-3 二ツ塚古墳	
34	東馬塚古墳	大阪府羽曳野市
35	栗塚古墳	大阪府羽曳野市
36	東山古墳	大阪府藤井寺市
37	はざみ山古墳	大阪府藤井寺市
38	墓山古墳	大阪府羽曳野市 大阪府藤井寺市
39	野中古墳	大阪府藤井寺市
40	向墓山古墳	大阪府羽曳野市
41	西馬塚古墳	大阪府羽曳野市
42	浄元寺山古墳	大阪府藤井寺市
43	青山古墳	大阪府藤井寺市
44	峯ヶ塚古墳	大阪府羽曳野市
45	白鳥陵古墳	大阪府羽曳野市